

第 145 回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

日時：2024 年 5 月 1 日（水）18：30～20：00

場所：伊丹市立図書館ことば蔵 1 階交流フロア

2 参加者 15 名

3 会議内容

<新規内容>

（1）懐かしくて新しいわらべうたの遊びと昔ばなしの会

【概要】

- ・チームを立ち上げた。ストーリーテリングで昔ばなしを入れようと考えている。
- ・今後は少し形を変えていきたいと思っている。
- ・今は定着した形があり、リピーターの方も来てくださっているので、今の形から少しずつ違う形にしていきたい。

【意見】

- ・ストーリーテリングとわらべうたの割合はどのくらいを考えているのか。
- 昔話はほんの少し。
- ・大きく動く楽しい遊びとかもあるのもう一人増えると楽しいものができると思う。

（2）2 分で心をうるおす名曲セラピー著者が語るお話会

～自分に自信を持てる考え方のヒント～

【概要】

- ・2 年前に「心が明るくなる人生のヒント」という副題で講演をした。
- ・今回はテーマを変えて、自分に自信を持てる考え方のヒントをやろうと考えている。
- ・松尾芭蕉や言葉の法則の講座などのイベントアンケートでメンタルセラピーや心理学に関するイベントの開催希望があること、また、若年世代の自己肯定感が低い人が増えていることから、自分に自信を持ってもらえるような話にしたい。
- ・J-pop の有名な曲を取り上げ、馴染みがある歌詞を中心に解説する。

【意見】

- ・BGMとして曲も流すのか。
- 著作権の関係から流さない。企画者自身が出版した本のコピー配布と解説を行う。例えばドリカムの「何度でも」であれば、人間は2,3 回失敗したら、次もダメだろうと思ってしまいうけど、改善しながら試行回数を増やせば、成功する確率が上がるなどの話をしようと考えている。

・前回とテーマが変わったので前回紹介していなかった曲はあるのか。

→今回はほとんど違う曲になる。前は喪失感を埋めるとか、涙は痛みを和らげるから泣きましょうと話したが、今回は背中を押すような話で行う。

(3) 楽しみながら♪ふれ愛親子ヨガ

【概要】

・ヨガはストレッチや筋トレに呼吸を合わせたものになるが、親子ヨガは親子のコミュニケーションを取りながら絆を深めることが目的とする。

・親子ヨガの効果は三つある。一つは産後の不調やストレスを軽減、二つ目が体力アップ・筋力アップ。三つ目が子どもの自己肯定感をほぐすこと。

・未就園児とその親が対象で、ヨガの中で抱っこや、触れ合いで、遊びのマナー化などいろいろな悩みの解消になって親子の遊びにもなり、自己肯定感も上がる。

【意見】

・持ってくる物や用意するものは。

→動きやすい服装や飲み物以外にもフロアマットが必要。

→フロアマットは12枚あり、6人分はある。

・ヨガマットを持ってきてもらえば対象人数は増やせるが、赤ちゃんを連れての持参は難しいか。

・開催時間が短いのであれば、何部かにわけて開催してはどうか。

・赤ちゃんと一緒にするヨガということを、チラシで伝えられるのか。

→実際にやっている様子が分かる写真があるので、チラシに使用する。

・肩書についてヨガ講師だけではなく、より身近に感じられる要素を足せないか。

→自身も4歳と1歳の子育て中と紹介すれば共感がわくと思う。

(4) 第3回伊丹の民話を聞いてものづくり体験をしよう

【概要】

・去年の12月に第2回を実施したが参加人数が5人と少なかったことから、同じ内容の、「伊丹の蛍」「野間の一本松といたずら狐」の2題をデジタル紙芝居で披露する。

・ものづくり体験は、木の台に30センチぐらいの竹ひごを立てて、その竹ひごをばね仕掛けのキツツキがカタカタ音を出しながら降りてくるおもちゃで、1時間ぐらいで作る。

・8月に開催したいと考えている。子どもを集めるために、ことば蔵で行うラジオ体操の後で行おうと計画している。

【意見】

・対象が小学生とこども園年長さんも可ということだが、年中さんには難しいということか。

→他の場所で開催した時、小さい子どもさんの場合はお父さんお母さんに作っていただい

たり、こちらのスタッフが手伝ったりしている。

- ・ラジオ体操の後に続けて紙芝居は、子どもにとってきつくないか。

→体操の後に続けてアニメの上映会などしているが問題ない。

→第1回の時にラジオ体操の後に行い、多くの子どもが参加した。

- ・ラジオ体操でスクリーン使用するので、そのままスクリーンで紙芝居をしてもらおうと考えている。

・子どもは集中力がすぐになくなってしまふことがあり、ラジオ体操からの流れが大事だと思う。

- ・ラジオ体操に参加する子どもの数はどれくらいか。

→夏休み初期は、親子あわせて100から120人位で、8月からは80から60人位。

(5) 作品、何でも、わいわい合評会

【概要】

・趣味でいろいろ書かれたり作られたりしている方はたくさんおられると思う。しかし、人に見てもらって評価してもらうには、個展や公募展、グループ展に出す必要がある。そのためには額に入れるとかが必要となりハードルが高い。また、人の評価を直接得ることも難しい。

・自分の作品を持ち寄って、直接どういう気持ちで作ったか、作品の評価などコミュニケーションが取れる場を作れば充実して楽しいと考えた。

【意見】

- ・手塚さんの作品を持ってくるだけじゃないのか。

→みんなのものを持って集まる場を作りたい。作者が説明し、悪い評価を含めてコミュニケーションが生まれたら楽しい。

- ・どれくらいの人数や時間で行うのか。

→初めてなので検討がつかない。皆が持ってきたものを並べて順に説明し評価をうけることを考えている。

- ・事前申し込み制にするか、当日直接会場制にするかでも変わってくると思う。

→どんなものが集まるか分からない。手芸は違うような気がするが、みなさんの意見を参考にしていきたい。

・いろいろなものが集まるほうが楽しそうだ。画一的なものでは展覧会みたいになるので気楽に参加できるようにいろいろな創作物にしたほうがいいと思う。

- ・作って展示する場は提供しないのか。

→新たに作るのではなく今まで作りためてきたものを持ち寄る形を考えている。

- ・時間的にはどう考えているのか。

→土日の午後を考えている。

- ・1時間ぐらいだったら寄れる方が限られる。午後だったら1時から5時まで必要かと思

う。参加者が決まっていれば1, 2時間でもできそう。

- ・1人5分でも12人集まれば1時間経つ。出品者は何人までで観覧者は自由とか決めるほうが良い。

- ・自作の文章を品評しあう、「いたみ文芸ことそうし」(奇数月第2土曜日開催)に似ている。

- ・テーマを決めたほうが混乱なく出来ると思う。

- ・事前に作品の情報がなければ進行などが難しい。持ち込まれるものが彫刻だと台座が必要とかもあるかもしれない。

(6) 英語をリトミックで楽しもう～七夕～

【概要】

- ・英語を子どもたちに教える第2弾として7月7日に七夕にちなんだ絵本や歌を英語で行う。

- ・リトミックによる音と動きを取り入れ、英語に触れる楽しみを感じる会を20分で行う。構成は挨拶と七夕の登場人物を使ったアイスブレイクを5分。英語で書かれた絵本による読み聞かせを10分、最後にフリー素材を使用した映像と字幕で歌おうと考えている。

【意見】

- ・アイスブレイクとは何ですか。

→参加者と開催者が打ち解けるためにする行為。七夕の登場人物について英語で話し導入部分にする。

- ・読み聞かせに10分とあるが英語ですか。

→3歳から6歳が対象で詳細は決まっていない。日本語と英語で行う形がやりやすいとは思っている。音楽が流せない日なので自分で歌おうと考えている。リトミックという形なので日本語を最初に入れるほうが良いと思っている。

- ・使用される絵本の記載は英語のみか。

→日本語と英語が入っている。使用する予定の絵本にはCDがついていて、日本語と英語のナレーションが流れるようになっている。CDの音源を流せるのは第1木曜日のみだが、木曜日は仕事上厳しいので自分でするしかない。

- ・絵本の内容を覚えるのに加えて、子どもたちに絵本の内容を伝えないといけない。読み聞かせにも技術がいるのに、加えて内容を覚えるとなると、難しいのではないかな。

- ・リトミックというと、タンバリンなどを使って子どもと一緒に体を動かして歌う要素が必要では。

→気になっている。絵本を持ちながらリトミックするのは難しいと考えている。

- ・絵本は置いておいて、自身で七夕の紹介する動画を作ってするほうが負担も少ないのでは。

- ・「英語で楽しもう。七夕」みたいなタイトルにしてリトミックにこだわらなくてもいいのではないかな。

→2月と同じく、英語で楽しもう～七夕編～みたいな感じで音と動きをメインにすることも考える。

(7) 第10回吃音講座

【概要】

・毎年実施している。国際吃音啓発の日に合わせてしたいと考えたが22日は無理なので10月6日(土)にする。

・構成は、言語聴覚士の講演と体験発表、本の紹介、ディスカッション、言語聴覚士による無料相談会。

・親子の参加が多い。子どもの吃音を悩んでいる親が相談できる場が少ないので、そういった場を提供したい。

【意見】

・10回目で何か特別な事を考えているのか。

→マンネリ化しているので変えたい。

・吃音がどのようなものか理解したい方も参加され、吃音の方との接し方など知りたい。

・なぜ、オンライン参加も受け付けているのか。

→福井県の方が毎回参加頂いているのでオンラインでも開催している。

・吃音によって小学生から中学、高校の時にどのような事で困ったかなどが気になる。そんなことが語られる場にしてはどうか。

・開催まで時間があるので、気づいたことがあれば次回以降の運営会議でも意見をいただきたい。

<イベント報告>

(1) 詩のボクシング

参加者6名。詩のボクシングは、自分で作った文書を青コーナー・赤コーナーに分かれて競うもの。今回の優勝者は吃音を持っている方で、寝転がって文書を読んだことが受けたのだと思う。

(2) 美容師の仕事

参加者3名。頭のケアのことやシャンプーの話などがあり、お店のことについても多くの質問があった。

(3) おことでひこう！きらきらぼし

参加者18名。○をたどれば誰でもお琴を弾けるようなシートを作り、お琴を親しめる機会になった。ドレミファソラシドが分かればほかの曲にも挑戦することが出来たので、マスキングテープでドレミが分かるように工夫をしたい。

(4) ことば蔵で風流を

参加者 57 名。尺八、朗読、お琴、森本先生のお話、民謡の演奏を行った。今回は、お琴の伴奏がある中で朗読を行うなど、新しい試みもあった。民謡では会場全体が盛り上がった。

(5) 防災ランタンをつくろう！キッズサバイバー講座

参加者 3 名。ペットボトルでランタンをつくって、テントで点灯させた。テントの中で地震のメカニズムや防災の勉強、ハザードマップの作製を行った。

(6) わらべうたあそびの会・春

参加者 24 名。段々参加者が増えている、大人も一緒に遊べるようにしたかったが、今回は賑やかなお子さんがいて子ども中心になってしまったのが少し反省点。最後は草花遊びもできて、おおむね楽しんでもらえた。

(7) 人をひきつける言葉の法則を学ぶ講習会

参加者 24 名。2 回目の開催だった。10 代から 80 代までの参加で半分ぐらいがリピーターの方だった。アンケートに新人研修や管理者研修で使わせてもらうとかなど書かれていた。

(8) 漫画を語ろう！

参加者 6 名。ジョジョの奇妙な冒険のミュージカルの話で盛り上がった。次回は 5 月 22 日 (水) 18:30 開催。4 月～6 月のテーマは「試練」「資格」「フラグ」「一気見におすすめ」「回収された伏線、されなかった伏線」「雨」「旅」「実写化」

4 次回運営会議 2024 年 6 月 5 日 (水曜日) 18:30～ ことば蔵 1 階交流フロア